

## MOVIE

### 『僕の帰る場所』

2国間で揺れる移民家族のリアル

日本に在留する外国人は現在約247万人。2015年には前年比約5万5,000人増の約39万人が流入し、世界第4位の“移民大国”となった。本作は私たちがこれから向き合っていくことになる“移民”というテーマを、ミャンマーでの民主化の流れや在日外国人を取り巻く社会を背景に描く。物語の中心となるのはあるミャンマー人の家族だ。日本で育った幼い兄弟、帰国を考えている母、仕事で日本を離れられない父——彼らの日常を追う中で、雇用や言語、アイデンティティ、母国への再適応といった、移民をめぐる問題が浮き彫りになっていく。監督の藤元明緒は本作が長編デビュー作。東京国際映画祭で日本人初の部門グランプリと監督賞のダブル受賞を果たした。



2017年/日本、ミャンマー/98分  
監督・脚本・編集:藤元明緒  
公開:2018年10月6日(土)より、ボ  
レロレ東中野ほか全国順次公開  
<http://www.passage-of-life.com/>

©E.x.N K.K.

## EVENT

### 『グローバルフェスタ JAPAN2018』

今年も開催! 日本最大級の国際協カイベント

10月6日の「国際協力の日」を記念して毎年開催されている本イベント。今年は「Action for all ~小さなことから変わる明日へ~」をテーマに、国際協力を行う政府機関、NGO、企業などが参加し9月29日、30日に開催。途上国の現状や国際協力の必要性などをわかりやすく紹介するほか、人気アーティストのトーク&ライブショーやインドの民族舞踊楽団ステージショー、難民をテーマにした映画の上映など、世界とのつながりを考えるきっかけとなるような、子どもから大人まで楽しめるさまざまな催し物が目白押しだ。イベントの詳細、最新情報は公式サイトやフェイスブックで随時更新されているので、ぜひご確認を。



会期: 9月29日(土)、30日(日)  
会場: お台場 センタープロムナード  
(東京都港区、シンボルプロムナード公園内)  
問い合わせ: グローバルフェスタJAPAN2018  
実行委員会事務局  
TEL: 03-3505-2235  
(月~金 10:00~17:00)  
<http://gfjapan2018.jp/>

## 新着情報

# イチオシ!

## BOOK

### 『消えゆくアジアの水上居住文化』

近代化のうねりを受け変容する、アジアの水辺

水辺の恩恵を受けつつ、周囲の環境と共生しながら生活を営んできたアジアの水上居住者たち。かつては日本においても全国津々浦々の海浜に「舟小屋」が建ち、多くの人々が水辺と密接に関わった暮らしを営んでいた。自然の脅威を回避し、快適で持続可能な環境をつくる知恵は伝統の賜物であり、都市における住空間を考える上でもさまざまなヒントを与えてくれる。しかし今、近代化が進み躍進するアジアの中であって、こうした文化は急速に失われつつある。本書はそのような伝統的な文化と現代社会との摩擦を見据え

ながら、アジアの環境と共生した空間づくりをフィールドワークの成果から読み解く。豊富なビジュアルとともに綴った、貴重な生活文化の記録。



この本を  
1名様にプレゼント  
▼  
詳細は p.38 へ

畔柳昭雄 著・編集、  
市川尚紀・舟岡徳朗 著

鹿島出版会  
2,700円(税込)

## BOOK

### 『屋根もない、家もない、 でも、希望を胸に』

フィリピン巨大台風ヨランダからの復興!

2013年11月、フィリピン中部の東ビサヤ地方を超大型台風「ヨランダ」が襲った。100年に1度と言われる記録的な規模の高潮と強風は、人命、建築物、ライフライン、産業に甚大な被害をもたらした。災害直後から緊急支援を開始したJICAは約5年にわたり復興のための協力を続け、被災者の生計回復や災害に強いまちづくりに取り組んだ。本書は、フィリピンの人々とともに歩んだその奮闘の日々の記録だ。多くの災害を経験してきた日本には、尊い犠牲のう

えに得た貴重な教訓と知恵がある。その復興の経験をフィリピンに伝えた本プロジェクトからは、災害復旧・復興支援における国際協力の新たな可能性が見えてくる。



この本を  
1名様にプレゼント  
▼  
詳細は p.38 へ

見宮美早・平林淳利 著  
佐伯印刷  
1,620円(税込)